

シンフォニカ寄付講座

大学生・社会人対象

受講料
無料

公的統計の統計情報を

実践的に活用するための
基礎から応用までを体系的に **学ぶ**

単に数値を知るにとどまらず、その背後にある社会的・経済的意味を考察し、自ら課題を発見し、根拠をもって議論できる力を身につける

01

人口統計・社会統計 の見方・使い方



統計データから長期的視点で
読み解く人口と社会の動向

2026. **5.20** 水 開講
全 **5** 回 19:00~20:30

詳細・申込

オンライン

見逃し配信付



対面

駿河台キャンパス



02

経済統計 の見方・使い方



経済データから読み解く
我が国経済の現在地

2026. **7.8** 水 開講
全 **5** 回 19:00~20:30

詳細・申込

オンライン

見逃し配信付



対面

駿河台キャンパス



03

政府統計の 総合窓口 (e-Stat) の使い方



e-Statから統計データを取得
して地図で可視化する方法

2026. **8.26** 水 開講
全 **5** 回 19:00~20:30

詳細・申込

オンライン

見逃し配信付



対面

駿河台キャンパス



※本講座は、講座趣旨に賛同いただいた公益財団法人 統計情報研究開発センター（シンフォニカ）様からの寄付金によって運営されています。

お問い合わせ 明治大学 リバティアカデミー事務局 (平日 10:30-19:00 / 土曜 10:30-15:30)

☎ 03-3296-4423 ✉ academy@mics.meiji.ac.jp

リバティアカデミー

春期の講座一覧はこちら



データとして高い信頼性を有する 公的統計三つのテーマ



社会の様々な面についての現状把握、今後の動向や課題解決への道筋を考えるために必要なデータとして統計データの基礎知識を提供することが本講座のねらいである。

講座概要

人口統計・社会統計について、その有用性について理解を深め、データを活用していくための基本的な事柄を幅広く学習し、**データリテラシーを高める**ことを目的としている。

01

人口統計・社会統計 の見方・使い方

5/20

5/27

6/3

6/10

6/17

02

経済統計 の見方・使い方

7/8

7/15

7/22

7/29

8/5

経済活動に関する統計について理解を深め、データを活用していくための**基本的な事柄を習得する**ことを目的としている。グローバル化する経済の現状や動向を、統計データを活用して自ら考えることができるように、貿易等に関する統計も含め、我が国の**経済活動全般に関するデータの見方・分析手法の基礎**を提供するものである。

03

政府統計の 総合窓口 (e-Stat) の使い方

8/26

9/2

9/9

9/16

9/30

政府統計の**総合窓口 (e-Stat)** から必要なデータを取得する方法を習得すること、また、近年GIS (地理情報システム) が注目されていることから、統計データや位置情報を持ったオープンデータをe-Statの機能の一つである**地図 (jSTAT MAP)** 上に可視化する方法を習得することを目的としており、データの高度利用の方法を提供する。

講座企画者・講師

藤江昌嗣

講座企画者 明治大学名誉教授、
浦和大学副学長・社会学部教授

講師

長藤 洋明

明治大学ビジネス・エコノミクス
研究所客員研究員

公益財団法人 統計情報研究開発センター (シンフォニカ)

統計情報がインフラとして有効に活用されるために行う統計情報の利活用技術に関する調査・研究・開発等、統計に関する知識の普及・啓発等、統計環境の整備・充実等及び統計に関する国際貢献等に関する事業を行っています。

【寄付者ごあいさつー講座開設にあたってー】

近年、データサイエンスの重要性が急速に高まる中で、社会のあらゆる分野において、客観的な統計データに基づく判断がこれまで以上に求められています。とりわけ、人口動態や社会構造の変化、経済情勢の把握、さらには政策立案や評価において、国勢調査結果、家計調査結果などの公的統計の情報を正しく読み解き、適切に活用する力は、今後の社会を担う人材にとって不可欠な基礎的素養であると考えております。

本寄附講座では、公的統計に関して、①「人口統計・社会統計の見方・使い方」、②「経済統計の見方・使い方」、③「政府統計の総合窓口 (e-Stat) の使い方」の三つのテーマについて、公的統計の統計情報を実践的に利活用するための基礎から応用までを体系的に学んでいただくことを目的としております。

本講座を通じて、受講者の皆様は、単に数値を知るにとどまらず、その背後にある社会的・経済的意味を考察し、自ら課題を発見し、根拠をもって議論できる力を身につけていただければ幸いです。

